



子ども達に出水時に働く施設や車両を見学してもらいます！

～養老町立養老小学校の児童が金草川排水機場、災害対策車両を見学～

概 要

幼少期からの防災に関する教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子どもから家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待されます。

この度は、養老町立養老小学校4年生の児童を対象に、金草川排水機場の見学会を実施します。また、昨年8月の台風5号及び10月の台風21号の際に、養老町の五日市川に派遣した災害対策車両（排水ポンプ車、照明車）も見学してもらい、子ども達に出水時に働く施設や車両について知ってもらいます。

- 開催日時 平成30年3月5日（月） 9時35分～12時00分まで
- 開催場所 金草川排水機場（別紙「位置図」参照）
- 対 象 養老町立養老小学校4年生（3クラス：約90名）
- 行 程 2時間に分かれて見学会を実施します
 - ・1時間目（9:35～10:45） 約45名
 - ・2時間目（10:50～12:00） 約45名
 ＊取材を希望される場合は、各時間の始まりを目安にお越し下さい。
- 内 容
 - 【金草川排水機場の見学】
 - ・中央操作室、エンジン室、ポンプ室等を見学
 - 【災害対策車両の見学】
 - ・対策本部車、排水ポンプ車、照明車を見学
（別紙「車両概要」参照）
- 解 禁 指定なし
- 配布先 岐阜県政記者クラブ
- 問合せ 木曾川上流河川事務所
 - 保全対策官 勅使河原 雅敏
 - TEL 058-251-4265（防災情報課直通）
 - FAX 058-251-6594

位置図



金草川排水機場



さいがいげんば かつやく さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車（たいさくほんぶ車）



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車（はいすいポンプ車）

やく から

◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本（30m³/分）の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約25時間稼働します。



照明車（しょうめい車）



きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

